

Title	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 第35巻 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学大学院人間科学研究科紀要. 2009, 35
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21416
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

## ◇執筆者紹介

岡田千あき (国際社会開発論) 人間科学研究科 准教授 (人間環境論) 三好恵真子 人間科学研究科 准教授 立命館大学 柏木 智子 非常勤講師 (国際協力論) 八十島安伸 人間科学研究科 准教授 (行動生理学) 人間科学研究科 大学院生 篠原 祐平 (行動生理学) 志村 人間科学研究科 教授 (行動生理学) 岡山 安田 純 人間科学研究科 助教 (附属比較行動実験施設) 日野林俊彦 人間科学研究科 教授 (比較発達心理学) 山田 一憲 人間科学研究科 特任研究員 (附属比較行動実験施設) 中道 正之 人間科学研究科 (附属比較行動実験施設) 教授 日本学術振興会 (比較発達心理学) 岸本 健 人間科学研究科 特別研究員 工藤 直志 人間科学研究科 大学院生 (文化社会学) 山中 浩司 人間科学研究科 准教授 (文化社会学) 亀山 俊朗 お茶の水女子大学 講師 (現代社会学) 人間科学研究科 教授 (論理科学・科学基礎論) 中山 康雄 中村 高康 人間科学研究科 准教授 (教育社会学) 申雄 人間科学研究科 大学院生 (臨床心理学) 東井 井村 人間科学研究科 教授 (臨床心理学) 修 良原 誠崇 鹿児島大学 特任助教 (臨床心理学) 高田紗英子 人間科学研究科 大学院生 (臨床心理学) (コミュニケーション社会学) 太田 健二 人間科学研究科 特任助教 河瀬 諭 人間科学研究科 特任助教 (感性情報心理学) (経験社会学) 長松奈美江 人間科学研究科 特任助教 人間科学研究科 渡部 留美 特任助教 (異文化間教育)

#### くお知らせ>

過去のバックナンバーの電子化・公開作業に関わって、以下のような公示を 2008 年 11 月 13 日より 2009 年 1 月 15 日までの間、人間科学研究科ホームページ(HP) においておこない、「著作権の包括的許諾」を頂戴いたしました。 執筆者ご本人から電子化・公開「不許可」のご連絡があったものをのぞき、今後、すべてのバックナンバーのご論文を、人間科学研究科HPおよび大阪大学付属図書館(リポジトリ OUKA(桜華))上に掲載し、公開していく予定です。

本巻発刊の時点においては、すでに公示期間はすぎておりますが、過去の執筆者の方々からのご指示(許諾の取消)があれば、その時点ですみやかに研究科 HP および OUKA から当該ご論文を削除させていただきます。許諾取消やお問い合わせなどがある場合は、人間科学研究科の図書室(06-6879-8015)を通じて紀要編集委員会までご連絡ください。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

『大阪大学人間科学部紀要』(1~25 巻) 及び『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』(26 巻以降)の電子化・公開に係る著作権包括的許諾の公示について

<2008 年 11 月 13 日公示>

現在、『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』編集委員会では、本誌の前身である『大阪大学人間科学部紀要』および『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』の掲載論文の電子版を、人間科学研究科ホームページ(HP)および大阪大学附属図書館の電子コレクションである、大阪大学機関リポジトリ OUKA(桜華)http://ir.library.osaka-u.ac.jp/に掲載することについて検討しております。すでに、近年の『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』については、出版時に著者の許可を得て、本研究科 HP および OUKA に掲載しておりますが、今回、それ以前のバックナンバーについても電子化による公開を進めようとするものです。

OUKAに掲載することにより、大学として資料を電子的に 永久保存することができるとともに、ネット上からいつでも無料でアクセスできることとなります。加えて、 Google の検索対象ともなりますので、 さらに多くの研究者の目にとまる可能性が高くなります。

つきましては、過去本誌に掲載された論文の著者の方々から本研究科 HP および

OUKA に掲載することにつき、ご許諾をいただきたいと考えております。過去本誌に論文を掲載された著者で、本研究科 HP および OUKA への掲載についてご異議やご質問のある方は 2009 年 1 月 15 日までに下記連絡先にご連絡賜りますようお願い申し上げます。 特にご異議の申し出がない場合、ご許諾をいただいたものとして対応させていただきたく存じます。

なお、本研究科 HP および OUKA への掲載は、人間科学研究科と大阪大学附属図書館が著作権に含まれる公衆送信権と複製権の利用に関する許諾を得て行うものであり、著作権の移動は一切発生いたしません。また、著作権者からの指示(許諾の取消)があれば即時無条件に研究科 HP および OUKA から削除されることを申し添えます。

### 編集後記

『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』第 35 巻をお届けいたします。本巻の原稿執筆、編集・発行にご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

2007 年 10 月より大阪外国語大学と大阪大学が統合し、人間科学研究科にグローバル人間学専攻が設置されるとともに、今までの人間科学専攻の組織の一部見直しがおこなわれました。本巻は、統合によって多くの新しい教員がくわわった新体制でのはじめての紀要となります。統合の実りが目に見える形であらわれ、充実した内容となったのではないかと思います。

長年にわたり本学の研究・教育にご尽力いただきました厚東洋輔先生、内海成治 先生、藤田綾子先生は、今年度をもってご退職されます。本巻には、お三方のご経 歴および業績を掲載させていただきました。

『大阪大学人間科学部紀要』創刊号から 35 巻を数えることになった今年度は、本紀要バックナンバーの本格的な電子化を検討し、実現に向けての作業をおこないました(前頁<お知らせ>をご参照ください)。従来の冊子体としてはもちろん、さらに電子情報としても、本研究科の研究成果がより多くの方々に届くことを願っています。 (木村)

## 紀要編集委員

権藤恭之(行動学系)

小林清治(グローバル人間学系)

堤修三(社会学・人間学系)

○木村涼子(教育学系)

(○印 委員長)

平成 21 年 3 月 25 日 印刷 平成 21 年 3 月 31 日 発行

大阪大学大学院 人間科学研究科紀要 第35号

編集・発行 大阪大学大学院人間科学研究科 〒565-0871 吹田市山田丘 1-2 TEL 06-6879-8015 (図書室)

印 刷 阪東印刷紙器工業所 大阪市福島区玉川 3-6-4 TEL 06-6443-0936

# **BULLETIN**

VOL. 35 2009

Community Empowerment through Sport
Emako Miyoshi ( 23)
Ethnography of the Organization Promoting Collaboration between Schools and the Community : Focusing on the Subject Formation for Community Development
Eating Disorder and its Biological Substrates
Yasunobu YASOSHIMA, Yuhei SHINOHARA and Tsuyoshi SHIMURA (71)
Preschoolers' Intervention in Peers' Conflict
Jun Yasuda and Toshihiko Hinobayashi ( 99)
An Analysis of the Questions Asked by Visitors at the Kanbanotaki Monkey Park
Kazunori YAMADA, Masayuki NAKAMICHI (119)
The Effect of Spatial Proximity to Caregivers on the Pointing Gestures of One-year-olds
The Impact of Electronic Medical Record Systems in the Health Care Workplace :
Changing Workload of Physicians and Nurses
The Politics of Citizenship
An Analysis of Propositional Knowledge Using a Theory of Justification Attribution
Yasuo Nakayama (193)
Reflexivity of Meritocracy:
The Theory of Education and Selection in the Late Modern Age
Interview Processes in which Drawing was Used in the Case of Patients with Muscular Dystrophy:
Considering the Possibility of Using Art Therapy in the Case of Patients with Muscular Dystrophy
The Effectiveness of a Short-term Support Group for the Family of Children with Muscular Dystrophy
Masataka Yoshihara, Saeko Takada and Osamu Imura (251)
The Cultural Sociology of Club Culture : Media and Space Use
Music and Communication : A Review of Psychological Researches Satoshi KAWASE (293)
On "Equality of Opportunity" in Studies of Class and Stratification
Support for Families of International Students and Researchers at Japanese Universities :
A Study Based on the Results of Questionnaires Administered to Accompanying Spouses

Published by

Graduate School of Human Sciences
OSAKA UNIVERSITY